

施策評価シート評価方法

① 評価の基準

最終目標（＝令和 7 年度の指標）までの達成率を基準に設定しています。

S	指標を100％達成
A	指標を 80％達成
B	指標を 60％達成
C	指標を 40％達成
D	指標を 20％達成
E	指標の達成率が20％未満

② 評価の水準

令和 5 年度は 3 / 5 年目となるため、「B」60％の達成を目指します。

令和 3 年度	1 / 5 年目となるため「D」20％達成を目指す
令和 4 年度	2 / 5 年目となるため「C」40％達成を目指す
令和 5 年度	3 / 5 年目となるため「B」60％達成を目指す
令和 6 年度	4 / 5 年目となるため「A」80％達成を目指す
令和 7 年度	5 / 5 年目となるため「S」100％達成を目指す

③ 達成率の表記

達成率の算定式は、（実績値－基準値）／（目標値－基準値）で、

0％から100％で表記しています。

④ 総合評価の方法

事業のさらなる推進を図るため、各指標の評価の平均ではなく、

目標指標中の最も低い評価を総合評価として設定しています。

令和5年度 施策評価シート

○ 令和5年度各指標の評価結果

	S	A	B	C	D	E
R5評価	7	0	2	2	1	9
R4評価	3	0	0	3	4	11

基本目標	基本施策	指標	R5評価	R4評価	ページ
1. 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする	(1) 産業をつくり、育てる (2) もっと訪れたいまちになる (3) 安心して働ける	起業件数	S	S	p3
		観光入込客数	E	E	
		生産年齢人口の一人当たりの平均所得金額の伸び額	S	C	
2. 地域への新しいひとの流れをつくる	(4) もっと訪れたいまちになる	社会動態	E	E	
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(5) 安心して子どもを育てられる	出生数	E	E	p4
		合計特殊出生率	E	E	
		理想とする子ども数と実際に持つつものの子ども数の差	S	E	
		子育て環境が良いと感じている子育て中の市民の割合	S	E	
4-1. 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実	(6) 美しく使いやすいまちをつくる (7) 行きたいところへ行ける (8) モノや情報が用意に得られる (9) 暮らしに豊かさが感じられる	特定空家解消率	C	D	p5
		公共交通機関の利用客数	E	E	
		スポーツ施設の利用者数	E	E	
4-2. 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成	(10) 豊かな自然を守り、活かす (11) 独自の歴史・文化を守り、活かす	市内民有林間伐等整備面積	C	D	p6
		協定農用地面積	E	E	
		中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数	E	E	
4-3. 安心して暮らすことができるまちづくり	(12) 安心して日々を暮らせる (13) 健康な体を維持できる (14) 犯罪や事故から身を守る (15) 災害から生活を守る	健康寿命	S	S	p7
		平均寿命と健康寿命の差	S	S	
5. 多様な人材の活躍を推進する	(16) 誰もが学び続けられる (17) 市民サービスを向上させる (18) 地域コミュニティを守り、活かす	学んで活かす人	D	D	p8
		ふるさと納税件数	B	C	
		大学生がまちづくり活動に携わった回数	E	E	
6. 新しい時代の流れを力にする	(20) 資源を活かし、まちを潤す (21) リニア新幹線開通を活かす	観光消費額	S	C	p9
		リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率	B	D	

施策評価シート

基本目標	1 稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする
基本施策	(1) 産業をつくり、育てる〈総合計画基本施策 [15]〉 (2) もっと訪れたいまちになる〈同 [16]〉 (3) 安心して働ける〈同 [2]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
起業件数（単位：件・単年）	11	11	結果	14	24	18			S
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%			
観光入込客数（単位：万人・単年）	415	450	結果	272 →273	334 →332	333			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			
生産年齢人口（15歳-64歳）の一人当たりの平均所得金額の伸び額（単位：千円・単年）	40	200	結果	229	114 →170	206			S
			達成率	100.00%	46.25% →81.25%	100.00%			

総合評価	評価の内容
E	「起業件数」 ・ R5は、18件の起業があり、目標水準を達成した。 ・ 引き続き、商工会議所や商工課などの関係機関と連携し、起業しやすい環境の整備を図る。 「観光入込客数」 ・ R4より増加したものの、目標水準を達成できなかった。 ・ R6は、WRCや恵那泊キャンペーン、食に関するイベントを実施し、観光入込客数の回復、増加を図る。 「生産年齢人口（15歳-64歳）の一人当たりの平均所得金額の伸び額」 ・ R4より増加し、目標水準を達成した。

基本目標	2 地域への新しいひとの流れをつくる
基本施策	(4) もっと住みたいまちになる〈同 [14]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
社会動態（単位：人・単年）	-88	-30	結果	-206	-225	-165			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			

総合評価	評価の内容
E	・ R4より改善したものの、転入者数1,358人、転出者数1,583人で225人減少となり、目標水準を達成できなかった。 ・ 引き続き、魅力ある働く場所の確保や、学習環境の整備などにより若者の転出を抑制するとともに、恵那市の魅力を効果的にPRし、移住者の増加を図る。

施策評価シート

基本目標	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本施策	(5) 安心して子どもを育てられる〈同 [1]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
出生数（単位：人・単年）	305	320	結果	228	226	185			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			
合計特殊出生率（単年）	1.56	1.70	結果	1.39	1.42	1.24			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			
理想とする子ども数と実際に持つつもり の子ども数の差（単位：人・単年）	0.6	調査ごと に縮小	結果	0.53	0.56	0.58			S
			達成率	100.00%	0.00%	100.00%			
子育て環境が良いと感じている子育て中 の市民の割合（単位：％）	29.7	調査ごと に上昇	結果	24.7	27.1	33.5			S
			達成率	0.00%	0.00%	100.00%			

総合評価	評価の内容
E	「出生数」 「合計特殊出生率」 ・ R4より減少し、目標水準を達成できなかった。 ・ R6から、新たな子育て支援事業の実施と、市内外へのPRの強化を図る。 「理想とする子ども数と実際に持つつもり の子ども数の差」 ・ 昨年度と比べると、やや悪化したものの、基準値は下回った。 ・ R6からは新たに給食費の一部無償化や入学祝金の支給などの経済的支援を行う。 「子育て環境が良いと感じている子育て中の市民の割合」 ・ R4より増加し、目標水準を達成した。 ・ 引き続き、子育て環境の更なる改善に取り組む。

施策評価シート

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
小目標	4-1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実
基本施策	(6) 美しく使いやすいまちをつくる〈同 [9]〉 (7) 行きたいところへ行ける〈同 [10]〉 (8) モノや情報が容易に得られる〈同 [11]〉 (9) 暮らしに豊かさが感じられる〈同 [13]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
特定空家解消率（単位：％）	50.0	92.3	結果	71.4	64.3	68.8			C
			達成率	50.59%	33.80%	44.44%			
公共交通機関の利用客数（単位：人・単年）	761,490	800,000	結果	479,099	454,695	453,339			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			
スポーツ施設の利用者数（単位：人・単年）	360,738	363,000	結果	230,984	299,379	323,721			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			

総合評価	評価の内容
E	「特定空家解消率」 ・ R5は、特定空家が新たに4件認定され、合計32件となった。 うち22件（R5は4件）を解消したが、目標水準を達成しなかった。 ・ 法改正に伴う制度の見直しと、制度の周知を図る必要がある。 「公共交通機関の年間利用者数」 ・ 明知鉄道の利用者数は、昨年度から増加傾向だが、目標水準には達していない。 ・ コミュニティバスの利用者数は、R5.4に大幅な路線再編を実施したため、昨年度との比較が難しい。 ・ 減少した原因は、通学手段をコミュニティバスからスクールバスに変更した地区があるためと考えられるが、現在の利用者数は、昨年度同月より増加傾向。今後も、利用促進による取組みを継続する。 「スポーツ施設の利用者数」 ・ コロナの5類移行により、利用者数が回復したものの、目標水準を達成しなかった。 ・ スポーツ推進委員会や研修を開催し、スポーツ推進に関する情報提供を行うとともに、各地区体育協会等が実施するスポーツ活動を支援し、施設利用者数とスポーツ人口の増加を図る。

施策評価シート

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
小目標	4－2 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成
基本施策	(10) 豊かな自然を守り、活かす〈同 [7]〉 (11) 独自の歴史・文化を守り、活かす〈同 [8]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
市内民有林間伐等整備面積（単位：ha・累計）	593	5,400	結果	1,791	2,385	3,058			C
			達成率	24.92%	37.27%	51.28%			
協定農用地面積（単位：ha・単年）	1,328	1,401	結果	1,323	1,318	1,323			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			
中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数（単位：人・単年）	78,801	96,000	結果	19,509	29,323	26,736			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			

総合評価	評価の内容
E	「市内民有林間伐等整備面積」 ・ R5は、673haの整備を実施したが、目標水準には達しなかった。 ・ 作業道が整備されていないなど、森林経営に適さない箇所の森林整備を促進する必要がある。 「協定農用地面積」 ・ R4から5ha増加したが、目標水準には達していない。 ・ 協定組織構成員の高齢化等により協働活動ができず、組織継続が課題となる団体の対応を行う必要がある。 「中山道広重美術館・岩村歴史資料館・ひしや資料館の入館者数」 ・ 目標水準に対し大きな乖離がある。 ・ 中山道広重美術館では、こども版画コンクールなど、「版画のまち」として版画が地域に根付くような取り組みを行っている。市民の版画への関心を高めるとともに、インバウンド対応などにより来館者を増加させる。 ・ 岩村歴史資料館では、伝建地区や近隣の山城の魅力をPRするとともに、企画展などの工夫により、来館者増加を目指す。 ・ ひしや資料館では、中山道を訪れる観光客に対し、美術館や行在所などとあわせ、大井宿の見所として、来館していただけるよう取り組む。

施策評価シート

基本目標	4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
小目標	4－3 安心して暮らすことができるまちづくり
基本施策	(12) 安心して日々を暮らせる〈同 [3]〉 (13) 健康な体を維持できる〈同 [4]〉 (14) 犯罪や事故から身を守る〈同 [5]〉 (15) 災害から生活を守る〈同 [6]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
健康寿命（単位：歳・単年）	男性79.34 女性84.04	男性79.94 女性84.69	結果	男性81.78 女性87.03	男性81.62 女性86.87	男性81.11 女性85.12			S
			達成率	男性100% 女性100%	男性100% 女性100%	男性100% 女性100%			
平均寿命と健康寿命の差（単位：歳・単年）	男性1.46 女性2.84	男性1.36 女性2.69	結果	男性1.26 女性3.09	男性0.75 女性1.38	男性0.73 女性1.47			S
			達成率	男性100% 女性0.00%	男性100% 女性100%	男性100% 女性100%			

総合評価	評価の内容
S	「健康寿命」 「平均寿命と健康寿命の差」 ・男女とも目標水準を達成した。 ・引き続き、健康フェスタ等で健康意識の醸成を図る。

施策評価シート

基本目標	5 多様な人材の活躍を推進する
基本施策	(16) 誰もが学び続けられる〈同 [12] 〉 (17) 市民サービスを向上させる〈同 [19] 〉 (18) 地域コミュニティを守り、活かす〈同 [20] 〉 (19) まちの担い手が育ち、つながる〈同 [21] 〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
学んで生かす人（生涯学習で得た知識や成果を生かして、地域や社会に還元していく人） （単位：人・単年）	0	40	結果	9	11	12			D
			達成率	22.50%	27.5	30.00%			
ふるさと納税件数（単位：件・単年）	3,171	15,000	結果	10,826	9,281	12,399			B
			達成率	64.71%	51.65%	78.01%			
大学生がまちづくり活動に携わった回数（協定締結大学）（単位：回・単年）	9	15	結果	0	0	0			E
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%			

総合評価	評価の内容
E	「学んで生かす人」 ・昨年度から1人増加したものの、目標水準を達成しなかった。 ・講座等を通じて「習得した知識等を地域や社会に還元したい」という意欲を持たせ、活動へとつなげる誘導が必要である。生涯学習支援員の登録の呼びかけを行う。 「ふるさと納税件数」 ・R4から30%以上増加し、3/5年目の目標水準を達成した。 ・目標達成のため、引き続き、登録事業者の増加と商品の充実、魅力発信の強化を図る。 「大学生がまちづくり活動に携わった回数（協定締結大学）」 ・コロナの5類移行後も、大学との連携が進まず、活動はなかった。 ・R6に新たに3つの大学と協定を締結した。地域課題や社会課題の解決に向け、協定締結大学との連携を進めていく。

施策評価シート

基本目標	6 新しい時代の流れを力にする
基本施策	(20) 資源を活かし、まちを潤す〈同 [17]〉 (21) リニア新幹線開通を活かす〈同 [18]〉

目標指標の推移

指標	基準値	目標値		R3	R4	R5	R6	R7	評価
観光消費額（単位：億円・単年）	87	100	結果	81	93	115			S
			達成率	0.00%	46.15%	100.00%			
リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率（単位：％）	0.0	65.0	結果	13.9	24.7	39.3			B
			達成率	21.38%	38.00%	60.46%			

総合評価	評価の内容
B	「観光消費額」 ・ WRC、岐阜未来遺産の認定、大井ダム完成100周年や観光振興補助事業の実施等により、来訪者数が増加し、目標値を達成した。 ・ 引き続き、地域資源を活かした観光誘客に取り組む。 「リニアまちづくり基盤整備計画前期計画事業実施率」 ・ 基盤整備計画の着実な遂行により目標水準を達成することができた。 ・ 引き続き野畑野尻線他機能回復道路整備事業など、地権者等との調整を行い着実に事業を進める。